

令和5年第11回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和5年11月17日 午後1時30分
- 2 閉会 令和5年11月17日 午後3時05分
- 3 会議に出席した委員
鈴木欽也教育長、太田孝雄教育長職務代理者、金田真也委員
高崎佐智江委員、田中早苗委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増田直道
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 峠 尚良
生涯学習課長 藤井 透
スポーツ課長 鈴木雅也
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課長補佐兼係長 木村真一
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第11回定例会議事日程

日 時 令和5年11月17日（金）

午後1時30分

場 所 北庁舎3階 302会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

(1) 令和5年度一般会計教育費補正予算について

(2) 清田小学校屋内運動場長寿命化改修工事請負契約の変更に対する意見について

4 報告事項

(1) 教育委員連絡報告事項

(2) 小中学校への寄附について

(3) 江比間野外活動センターの今後の在り方について

5 その他

開 会 午後 1 時 30 分

教育長

本日は、何かとご多用のところご出席くださいますようお願いいたします。

ただいまの出席者は 5 名であります。定足数に達しておりますので、令和 5 年田原市教育委員会第 11 回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第 13 条第 2 項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、太田委員と田中委員のご両名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長

それでは議題に先立ちまして、教育長報告を私からさせていただきます。

また、表紙をおめくりいただくと、教育委員会報告という資料がございますので、ご覧いただきながらお聞きいただけたらと思います。

11 月に入っても、しばらく暖かい日が続いていたのですが、先週当たりでしょうか。本当に本来の 11 月らしい気候になってきたのかなと感じます。最近、朝夕の冷え込みが少し厳しくなってきたのかなと、そんなことを思っているところでございます。

学校ではインフルエンザの流行が、実はなかなか収まらずに本日も学級閉鎖を行っている学校がございます。コロナは、少し収まったのか、この頃報告がなかなか上がってくることがなくなったのですが、インフルエンザによる学級閉鎖は、ずっと報告が上がってきておまして、ちょうど学芸会の時期に当たっているものですから、学校も大分苦慮しているようでございます。何とか早く、収まるといいのかなと思っているところでございます。

それでは、教育長メモに従いまして、この中から 5 点に絞らせていただいて報告をさせていただきますと思います。

まず、10 月 26 日、教育研究発表会ということで、田原南部小学校と伊良湖岬小学校 2 校の発表がありまして、両方の学校に参加させていただきました。当日とても好天に恵まれて、本当によい研究発表会ができたなというように感じております。両校の研究で共通していたのが、タブレットを学習にしっかりと活用して授業公開をしているという、その点でございました。以前からこの 2 校がとても積極的に取り組んでいて、タブレットが全員に配付された後、研究が始まったのがちょうどコロナの真っ最中であつたわけなのですが、その中でよりよい学習を子どもたちにさせていこう、それからタブレットの活用というのも、なかなかこう形が決まったものがあるわけではなくて、学習の中で有効な活用をそれぞれ探りながら進めていくという、そのよう

な状況の中で始まった研究でございます。タブレットはあくまでも道具であって、それを使いこなすということが目的ではございません。使いこなすことで子どもたちの学びをいかに深めていくのか。そのためのタブレットの活用という、そういう認識で両校とも研究に取り組んでもらいました。その点が本当にすばらしかったなと感じております。いろんな学校があるものですから、タブレットの扱いが得意な先生がいると、使う機会が増えていくのですが、なかなかそうでない学校については、少しまだ進み具合がゆっくりのところもございます。両校の発表、市内の全教員が二手に分かれて参観したものですから、非常によい刺激になったのかなと思います。今後の市内での各学校での、そのタブレットを活用したりする、ICT教育の推進に非常によい機会になったというように捉えております。

2つ目といたしまして、11月3日の日、ドナルド・キーンと渡辺華山展記念講演会が開かれたものですから、そちらに参加してまいりました。皆さんご存じのとおり、芥川賞作家の平野啓一郎氏の講演でございました。講演そのものも本当にすばらしかったのですが、私、平野啓一郎さんと少しですが身近に接する機会が得られたものですから、これが本当によい時間になったなというように感じております。まだ、40代の若い作家であるのですが、当然のことながら非常に知性と教養にあふれていて、ただ、全く飾らない人柄で人間的にも非常に懐の深さというのを、少し接しただけでもそういったことを感じられるような魅力的な人物でございました。晩年のドナルド・キーンがその人柄にほれ込んで、友人としてこれからもつき合ってほしいというようなことをドナルド・キーンの方から言っていたということで、そのような人でございました。

全国からも大勢ファンが当日来てくれたみたいで、この近場だけでなく、やっぱりそういったことも実際にお会いして当然だなということを感じた次第でございます。すばらしい人物に直接出会えるということが、接することができるというのが、やはり人の人生において本当にそれがすばらしい経験になるなと、財産になるなと、そのようなことを感じた次第でございます。

3つ目としまして、11月7日の日、感謝状贈呈式と書いてございますが、泉小学校へ石川様という卒業生の方から寄附金をいただいたものですから、その感謝状の贈呈式に行ってまいりました。この件に関しては、後からまた事務局から寄附金についての報告がございます。私、この石川様とお話をして、やはりとてもすばらしい人柄に、またとても心を動かされたわけなのですが、泉小学校の卒業生で今年80歳になられる方です。東京へ出られて実業家として成功されて、今回このようにすごい金額の寄附をいただいたわけなのですが、お話しして

る中で、やはりそのご自身のふるさとである泉地区であったり、渥美半島と言いますか、そういったものを非常に大切にさせていただいているというのを感じました。私どもがいつもふるさと教育ということで、田原では大事に学んでおりますということを、自分からもお伝えしたのですが、すごくその辺を分かってくださって、石川さんご自身も今の自分があるのは、やはり小学校の時に受けた教育が一番基になっていると。あの時の自分の生活があるから、今の自分があるというようなことをおっしゃっていただいて、今ふるさとを離れてはいるけど、いつまでも自分の心の中に大切なふるさととして残っていると。そのようなことをお話していただきました。

私たちが日頃大切にしているふるさと教育も、まさにこういうことだなということを改めて感じました。ふるさと教育というと、ちょっと狭い見方をすると、ふるさとを大切にしていって地域ですと生活をしていく人材を育てるというような感じに思われがちなのですが、私は決してそのようには思っておりません。もちろん地域を愛して、地域をこれからもずっと発展させていく人材も大いに大切にしますが、それだけではなくて、やはりこの石川さんのように日本全国で活躍できるような方。もっと言えばもう世界へ出て行くような、そんな人材も本当は育てることが大切なのではないかなと思います。ただ、石川さんのように心のよりどころとして、いつまでもふるさとを大切にさせていただいているのであれば、ふるさと教育の一番の大切にしたい部分というのがしっかりと伝わっているのかなということを感じました。それから広い意味で、ふるさと教育というのをこれからも進めていけるといいのかなと、そのようなことを感じました。

4つ目としまして、学芸会の参観に何校か行ったものですから、そのことを報告させていただきます。11月12日に亀山小学校と福江小学校、それから本日午前中に衣笠小学校へ行かせていただきました。亀山小学校は全校児童41名の市内で一番小さな学校なのですが、小規模校のよさを本当に感じる事ができる学芸会でありました。子どもたち1人1人が本当に活躍の場を与えられて大切にされているという、そんなことをまた改めて感じる学芸会でありました。全校演奏というのも41人で、すばらしい演奏を聞かせてくれましたし、それから2年生の子たちは3人なのですが、3人の子たちが生き生きと音楽劇を演じていて、もちろん3人だけだと、なかなか間が持たないものですが職員も少しそこに演奏して加わったりして楽しくやっていたのですが、そのような姿を見ても、とても職員も子どもたちもこのよさを感じながら生き生きとやっているなと思いました。保護者や地域の方も大勢参観してみえたのですが、恐らく私と同じことを感じたのではないかなというように思っております。

それから、福江小学校は、改装して新しく生まれ変わった体育館での初めての学芸会ということでした。とても明るくてきれいになった体育館でステージの下の方まで、子どもたちが演劇をするような場としてしつらえてありまして、のびのびとやっているのがとても印象的でした。ちょうど学芸会が行われる少し前にやっぱりインフルエンザが流行ってしまって、何クラスか学級閉鎖になったそうです。1年生はどうにも練習が間に合わなくて、当日はちょっと延期して本日ですね。1年生だけ特別に発表会をしているそうです。他の学年についても実は練習が不十分で、実はこれも2年生なのですが、当日に劇の中で結構中心となる大事な配役の子が休んでしまって、代役を急に朝言われた子が台本を持って演劇をしておりました。それでもきちんとやり遂げたものですから、ああ、すばらしかったなと思いました。その辺りも何か子どもたちの頑張りというのを一生懸命学芸会に臨んでいる姿が見ることができて、とてもうれしくなりました。

それから、今日の衣笠小学校は学習発表会という形態で、本日は通常授業が実は行われております。その中で時間になると担当学年の子たちが体育館へ来て、その学年の保護者だけを入れて発表すると。20分弱ぐらいの発表なのですが、そんな形で行っておりました。ですから、その学年の発表が終わると保護者も一斉に入れ替えになって、次の学年の保護者が入ってきたりと。そんな形で行っておりました。それから発表する内容も普通の劇とか音楽とかではなくて、授業で取り組んだことをまとめるような形で、それを発表形式に少し発展させて全員参加で行うという、そんな形で行ってありまして、以前の学芸会とは変わった形のものを見させてもらったなということで、これからこうしたいろんな学芸会、学習発表会の1つの在り方だなということで、こちらも非常によい発表の仕方を見せてもらったというように感じて帰ってまいりました。

それから最後、11月14日ニューイヤー駅伝の選手壮行会がございました。トヨタ自動車が先日行われました中部・北陸実業団対抗駅伝大会で優勝して全国大会へ出場することで、地元であるので、その選手壮行会という形で行われました。私たまたま、すぐ隣がキャプテンの服部勇馬選手でありまして、少しの間、話をする時間が持てて、それがとてもうれしかったものですから、少しまたお伝えさせていただきます。服部選手は学生時代からとても活躍をして、私ずっと好きな選手として注目してきたのですが、服部選手が以前からすばらしいなと思っていたのが、その人柄であります。東京オリンピックの前に、服部選手の練習場面をちょっと特集したドキュメンタリーみたいなのがNHKであったのですが、そのときに服部選手が言っていたのが「マラソンすることの目標は自分自身を磨くことであります」ということ

を言っていました。上位に入賞するだとか、いい記録を出すだとか、そういうことではなくて、人間として自分を磨いていくためにマラソンに取り組んでおりますということを言って、私非常に感銘を受けて、より服部選手のことが好きになりました。東京オリンピックでは熱中症のような症状が競技中に出てしまって、ふらふらになって普通ならもう棄権をするところなのですが、最後まで走り切りました。走った選手の中では、確か最下位だったかなと思うのですが、そのしばらく後に市長のところへ報告に来てくれたものですから、その時、私も同席して、その時、服部選手が話していたのを今でも覚えているのですが、マラソンレースで初めて自分自身に勝つレースができましたというように、そのとき言うておりました。結果は最下位だったのですが、棄権をしたい、もう止まりたいという、その自分の心に何とか打ち勝って最後まで走り切ることができたということなのですが、やはり服部選手だなと思いました。そのときも感心したのですが、ただ、そのときのダメージはやはり非常に大きくて、その後、選手としてはなかなか活躍できないことが、ずっと今も続いているわけです。ただ、最初の服部選手の言葉のように自分自身を磨くというために頑張っているマラソンだから、成績よりはそういったことを大事にする人なのだなということで、そんな服部選手とちょっと親しく話ができただけです。先ほどの平野啓一郎さんもそうなのですが、やはり、自分とは違う、本当に全国レベルで活躍している優れた人と直接このように交流ができることというのが、本当に素晴らしい時間になるなと思いました。服部選手の生き方というのは教育という分野でスポーツを考えたときに、非常に学ぶことが多いなという、そのようなことも感じた次第でございます。

以上、教育長報告とさせていただきます。

何か質疑等がありましたら受けたいと思います。いかがでしょうか。

ご質問もないようですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

それでは、これより議題に入ります。

初めに、議案第20号「令和5年度一般会計教育費補正予算について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、議案第20号をお願いしたいと思います。

令和5年度一般会計教育費補正予算について。

令和5年度一般会計教育費補正予算については、別添によるものとする。

令和5年11月17日提出。教育長名でございます。

1枚はねていただきたいと思います。

ページ数が振ってございます。ページに沿って順に説明させていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。

最初に教育総務課からでございます。

1 ページ目です。左の欄の事業3のところに事業名がございます。教育振興基金積立事務でございます。補正の額につきましては、の下
の欄の区分という項目の上から2段目に補正額とありまして、右側
を見ていただきますと1,000万という数字があるかと思ひます。補正額
につきましては1,000万でございまして、費目につきましては、その
下の欄になりますが、積立金でございまして。

1枚はねて2ページ目をお願いしたいと思います。

先ほど教育長報告にもあったとおり、前回の教育委員会におきまして、寄附のご報告でご紹介させていただきましたが、泉地区出身の石川勝さんからの寄附が1,000万ございました。この寄附につきま
して、今後どのように使うかということを含めて、一旦基金に積立てる
ということで、1,000万を積立てることを要求させていただいており
ます。その他については、こちらに記載のとおりでございます。

続いて、4ページをお願いしたいと思います。

小学校管理運営事業でございます。補正の額につきましては1,670
万3,000円でございます。費目につきましては工事請負費でございま
す。

次のページ、5ページ目をご覧いただきたいと思ひます。

工事の内容でございます。小学校管理運営事業で次の目的の下に2
つの項目を記載してございます。

1点目でございます。田原南部小学校屋内運動場床板塗装改修工事と
いうことで、317万9,000円お願いするものでございます。内容でござ
いますが、体育館の床が結構傷んでおり、その床を削って補修をして
塗装をかけるという工事をお願いするものでございます。工期につ
きましては、今年度と来年度の2か年をまたいで実施する予定であり
ます。

続いて2点目です。清田小学校屋内運動場長寿命化改修工事でご
ざいます。金額につきましては1,352万4,000円でございます。内容につ
きましては既設屋内運動場の器具庫などの改修の追加工事を行うもの
です。その下の経緯というところを見ていただきますと、文章の中ほ
どからになりますが、アリーナ東面上部内壁にコンクリートの、少し
表現が過大ですけど、爆裂している部分ですとか、鉄筋の破損等が確
認されたため、このような部分をしっかりと補強をしながら工事をする
ということで、合わせまして1,300万円ほどの補正をお願いするもの
でございまして。工期的には当初ゴールデンウィーク明けから工事に入
っておりますが、終わりを2月末から3月末に変更をお願いするとい
うものでございます。

続きまして、生涯学習課の補正予算です。

2つあります。児童クラブ運営事業と市民館運営事業の2つでございまして、1つずつ説明をさせていただきます。

7ページをご覧ください。

児童クラブ運営事業ということで、補正額は853万3,000円です。下の欄の費目ですが、報酬になります。内容につきましては次の8ページをご覧ください。

児童クラブでは、指導員さんを会計年度任用職員として任用しています。今回、人事院勧告による報酬単価の増額改定がありました。その人事院勧告に伴い増えた分を増額するものと、それから児童クラブを使う児童が増えたことにより、それに対応する指導員を3人増やしました。現在、主任の指導員が17人おりまして、このたび、通常の指導員を52人から55人に増やしましたが、その増額分から、夏休みには指導員を減らしているのです、その減額分の差額を補正していくものでございます。

続きまして、10ページをお願いします。市民館運営事業ということで、補正する金額が2,987万4,000円です。内訳でございしますが、下の欄を見ていただくと、報酬と、職員手当等、それから工事請負費とありまして、それぞれの金額を記載してあります。内容について説明します。

次の11ページをお願いします。

その内容につきましては、2つありまして、1つ目は先ほど説明しましたように会計年度任用職員として、市民館の主事さんを任用しております。同じように人事院勧告に伴い報酬単価が上がったので、その不足分を増額するというところでございます。会計年度任用職員は期末手当も支給されていますので、そちらの増額分も増やします。合計で347万4,000円でございます。

続きまして2つめの項目をお願いします。赤羽根市民館の多目的ホール空調設備改修工事です。市民館も多目的ホールも平成17年建築でございまして、空調設備はその当時のままであります。通常、エアコンの耐用年数が10年から15年とされているのですが、老朽化と、それから表浜の赤羽根地区でありますので塩害がひどくて室外機の腐食が進んでおりまして穴が開いている状態でありますので、いつ故障してもおかしくないという状況です。エアコンが故障すると利用者への影響が大きいものですから、今後、来年の夏場にエアコンが使えないと利用者に不便をかけることから、設計で1.5か月、工事で3か月、エアコンを使い始める6、7月には間に合うということで、この時期に補正予算を提出をさせてもらって、工事に取り掛かっていきたいということでございます。工事費は2,640万円でございます。

では、図書館の説明をさせていただきます。

教育総務課長

13ページを御覧ください。

13ページで、同じく事業3のところ、図書館運営事業です。補正額は241万7,000円ということで、下の欄にあります項目は報酬費と職員手当等となっております。

次の14ページをご覧ください。

生涯学習課の会計年度任用職員と同様に図書館で働く会計年度任用職員も報酬単価の改定が行われておりますので、そちらの差額を補正するために報酬費と期末手当、合計241万7,000円を補正させていただきます。

以上です。

それでは、続いて17ページをお願いしたいと思います。

債務負担行為の補正の資料をお願いします。債務負担行為とはどういうものかといいますと、基本的に市の会計は単年でっておりますので、長期的に何年も複数年に契約を結ぶ場合は、ある程度の財政的な担保が必要でございます。そのためにこのように債務負担行為という形で、この限度額、上限のここまでの額はその何年間の間で使えますよという形で債務負担行為というものを起こさせていただいております。

その関係でこちらにお示しのとおり、今年度でこちらの童浦小学校のスクールバスと伊良湖岬小学校のスクールバス、そして福江中学校のスクールバスがこれで契約が終了します。令和6年度から、またさらに契約をするために今年度予算として、今回の補正の前にそれぞれこちらのように限度額として金額を確保していたわけですが、ご承知のように昨今の燃料費の高騰やバスの維持管理費、こういったものがかなり高騰しておりまして、この金額では5か年の契約はできないということで、それぞれ童浦小学校のスクールバスについては5,200万円余から6,000万円余に、伊良湖岬小学校は2億1,700万円余から2億5,200万円余に、福江中学校につきましては、3億2,000万円余から3億7,100万円余という形でそれぞれ増やさせていただいて、これで契約を結んで来年度からの車両運行に務めていきたいと思っております。そのために債務負担行為の補正をさせていただくものでございます。

教育長
太田委員
教育長
太田委員

事務局の説明が終わりました。ご質問等ございますでしょうか。

いいですか。

太田委員、どうぞ。

先ほどの5ページに南部小と清田小の体育館の改修工事の工期が載っていましたがけれども、清田小学校につきましてはこの工期で3月まで延びたことから、この前の学校訪問で卒業式ができないということで、渥美文化ホールで行うという予定をお聞きしたのですけれども、この南部小学校も5月中旬までかかるということは卒業式だとか入学式だとか体育館で行うような行事については、その間は工事を中止し

教育総務課長

て举行できるのか、そのあたりはどのようになっていくのでしょうか。

太田委員
教育長

今のところ、その時期は避けて行うようにしておりますので、年度末行事、年始行事は大丈夫ということになります。ただ、清田小学校は、どうしても卒業式あるいは終業式、こちらにどうしてもかかってしまいますので、何とか4月の入学式にはしっかりきれいな体育館で迎えられるように工事を進めております。

はい、分かりました。

その他、いかがでしょうか。

では、その他のご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第20号「令和5年度一般会計教育費補正予算について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

委員
教育長

(異議なし)

では、ご異議ないようですので、議案第20号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に、議案第21号「市議会提出案件（清田小学校屋内運動場長寿命化改修工事請負契約の変更）に対する意見について」を議題といたします。

教育総務課長

事務局の説明をお願いいたします。

議案第21号「市議会提出案件（清田小学校屋内運動場長寿命化改修工事請負契約の変更）に対する意見について」

清田小学校屋内運動場長寿命化改修工事について、下記のとおり請負契約を変更するため、田原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年田原町条例第6号）第2条の規定により議会の議決を求めることについて、意見を求めます。

令和5年11月17日 提出、教育長名でございます。

記以下をご覧ください。

先ほどの補正等でご説明したとおり、契約も変更をしなければならないものですから、以下のとおり契約の変更をいたします。

契約の目的でございます。清田小学校屋内運動場長寿命化改修工事でございます。2番目、契約の方法は一般競争入札。こちらは最初の契約が一般競争入札だったということでございます。3番目、契約金額。変更前は1億2,870万円でございます。変更後は1億6,619万1,300円となります。4番目、契約の相手方でございますが、田原市小中山町万灯松292番地、渥美建設株式会社代表取締役 川口幸晃でございます。

教育長

以上で説明とさせていただきます。

事務局の説明が終わりました。ご質問等ございますでしょうか。

ご質問等もないようですので、お諮りいたします。

議案第21号「市議会提出議案（清田小学校屋内運動場長寿命化改修

委員
教育長

工事請負契約の変更) に対する意見について」原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

では、ご異議ないようですので、議案第21号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて報告事項に入りたいと思います。

それでは、教育委員の皆様方の連絡・報告事項を順次お願いいたします。

初めに太田委員、お願いします。

太田委員

先回の定例会から本日まで、ちょうど秋ということ、また、市制施行20周年ということで、いろんなイベントが順次行われまして、私も参加させていただきました。大きく3つに分けて報告をしたいと思います。

まず、市制施行20周年関係で10月25日の記念給食に参加させていただきました。献立から、それから当日のいろんな取組みから地産地消。それからふるさと教育の面でも、とても意義ある、また20周年を振り返った意味でも、とても意義ある勉強になったのではないかなと思います。献立も子どもの希望を取り入れて行っているというのによかったなと思いました。

それから、10月28日の記念式典につきましては、特に私がよかったなと思うのは高校生が運営に加わっていたということで、ちょうど帰りがけに蒲郡の大原副市長さん、前に教育長を務められた方で、少し面識があったものですから、帰りに少しお話をしたら、やはり高校生がとても生き生きしてよかったというようなお礼をいただきまして、とてもよかったなということを感じました。

それから、市制施行20周年とタイアップして田原市の市民まつりだとか文化祭が行われましたけれども、大変多くの市民の方が参加されて、私、文化協会に携わっておりますけれども、文化活動も披露できましたし、11月3日の市民茶会にもたくさんのご参加いただきまして、ありがとうございました。

それから、研究発表会関係で2つ参加させていただきました。10月26日伊良湖岬小の研究発表です。研究発表会は何回か参加したことありますけれども、仮設手立てというのがとても理論的で分かりやすく、玉置先生のご指導でいろいろ研究を進めていたと思いますけれども、管理職、研究主任、副主任がよく学校全体をリードしてドイツ語調で研究が進められていて、とてもよかったなと思いました。私が特に感心したのは、玉置先生が記念講演をされたのですが、1時間の公開授業、7組学級全部回って動画を撮って、それを講演の中で、やはり視覚に訴えるような形で発表されたのがこのICTの活用

というのも講師の先生もそういうスタンスでいたのが、とてもよかったというように思いました。

それからもう1つ、11月2日に県の小中学校の音楽教育研究大会、田原中部小学校、田原中学校、田原文化会館で「音楽は友だち」というテーマで公開授業やいろんなアトラクション等が行われました。田原中学の3年生、中部小学校の1年生と5年生の公開授業。どのクラスも準備がよくされていて、子どもたちもよく育っているなということを感じました。生き生きと音楽に楽しみ、学んでいました。文化会館で亀山小学校の全校合奏も行われましたけれども、亀山もどっちも1年から6年まで一緒になって、とても音楽に親しむ。まさに音楽は友だちというような、そういう発表がよかったと思います。

その後の、田原出身のソプラノ歌手山内房子さんという方がすばらしい歌声を聞かせていただきましたが、60代にしてあのすばらしい歌声が、声が出るということで、私も頑張らなければいけないなということで、勇気をいただきました。

両研究発表も発表会としては、大変すばらしい発表会でした。伊良湖岬小学校で教育長も最後お話をされましたけれども、やはりこの研究を市内に広げていくということ並びに岬小学校、これからさらに研究を継続、深めていくという、これがやはりどの研究発表もただお祭りのように発表して終わりではなくて、それをどういう形で今後生かしていくかということが、研究発表会というのは重要なポイントになるのではないかなということを感じました。

それから学芸会につまして、昔は学芸会ですが、今はいろんな名前前で呼んでおりますけれども、11月11日に旧赤羽根町の3小学校をはしごしました。午前中に高松、赤羽根、若戸の順で回りましたけれども、まず、高松は学習発表会という形で。特にふるさと教育を意識したような総合だとか、生活科だとかふるさとをテーマにしたような内容が多かったように思います。校長先生も今年からコミュニティスクールを始めているということで、そのお話をされていたのも保護者、地域の方にとっては大変よかったのではないかなと思います。大変発表内容は簡潔で洗練されているように思いました。

それから赤羽根小学校はダンス&ミュージックということで、ここ数年ダンスとそれから音楽ということで、私は3・4年生の合唱、合奏、ダンス。それぞれの学年が大体3つぐらいを取り組んでいるのですけれども、大変バラエティーに富んで、今は子どもたち、大変ダンスについては興味、関心が高いので、とても生き生きと演じていたように思います。

それから若戸小学校も学習発表会的な、シンボルツリーのユリノキを、ゆりのき発表会という名前で学芸会が行われました。私が行った時は、ちょうど6年生になりたい自分・将来の夢ということで、自分

はこういうことでナンバー1になりたいという、大きな声でステージでナンバー1宣言をして、その宣言したことを書道パフォーマンスで体育館のフロアに大きな紙を敷いて、そこに、ちょうど今、書道甲子園みたいな形の、ああいう鉢巻きをして書道をやっておりました。フロアにあると観客からは見えないものですから、そこにカメラで撮ってスクリーンに映して、少し薄くて見にくかったのですけれども、最後にはステージの上に大きくそれを掲示できたものですから、どんな内容かということもよく分かって、大変工夫されて面白い内容でした。一番最後に教職員で絶好調バンドということで、校長先生が教頭先生中心となって演奏を披露しました。市民館まつりでも演奏したそうで、ああいう職員も一緒に演じるというのも、なかなかいいなというように思いました。大変校長先生の言葉の中には、子どもたちが自主的で、感動のある発表会ができたというふうなことを言いました。全体通して今までの学芸会と比べて、どれも変わっているわけですが、昔はやっぱり劇などをやっていくと、どうしても主役中心のこういう学芸会になりやすいのですが、1人1人がこう主役だというような、そういうものがどの演技にも出ていて、ちょうど子どもたちが自主的、活動的に動いていたというように思います。

日常の学習の発表という色彩もあって、今までの学芸会に比べて普段の授業と関連性が強くて、こういう形の発表会、いいのではないかなというように感じました。

以上です。

ありがとうございました。

続いて、金田委員をお願いします。

幾つか参加したのですけれども、3つに絞って報告いたします。

20周年記念給食については、給食センター、いつ行ってもきれいで、内外ともきれいで感心いたしました。また、今年は猛暑の影響で米が早熟してしまって小さい三等米が多いということなのですが、それは調理の人の工夫で味を落とさないように調理したいという言葉が、生産者の立場としてもとてもうれしい言葉だなと。このように感じました。差し支えなかったら、給食を食べるのではなくて、ぜひ調理をしているところが見てみたいなど、そのようにも思います。

次に、南部小学校の研究発表会に参加いたしました。グリーンタウンができて、ここ数年で100名から200名に生徒が増えた学校ということで、6年生の数を見ると物すごく多くなっていたのですけれども、数年前は上級生が2、3人に下級生ずらずらっとつるカルガモの親子のように登下校していた子どもが、もう上級生になったのだなど、そう感じるととてもほほ笑ましかったです。

また、公開授業に関しては、今までも本当に学校訪問に行ってもあちこち回っていて、1つの授業を通して見たことがなかったので、事

教育長

金田委員

前に資料に目を通した上で、1つだけに集中して3年生の国語の授業を見させていただきました。ICTの活用ということで、付箋を利用することで新しい発言方法をしているなと思いました。発言しない子でもたくさんの言葉を書き込んでいたのは、新たな発言方法だなと、そのように思いました。授業は、国語の授業ってどうやって、なかなか盛り上がりづらいとは思いますが、静かながら終わりにかけて、どんどん盛り上がっていく様子が伺えました。

最後の授業終わった後のワークショップで、その先生のお話を聞いた中で、ICTを使わない時はパソコンを閉じる。意識を先生に向けると。手を置くのと一緒というような言い方をしていた時に、その先生の表現の仕方というかが、とても上手だなと感心いたしました。このつかむから考えてまとめて振り返る。この授業手法に子どもたちの未来の可能性が広がるのを、とても感じます。この問題解決プロセスを、この小学生の頃から子どもに植えつけるということは、とてもすごいことだなと思いました。私は大人になって、やっとこれを身につけたのに、この小学校から身につけられるのだとしたら素晴らしい子どもが育つなと。そのように今、期待をしております。

また、たまたま見た授業だったのですけれども、その教諭は多分すごい授業力のある先生で、話がとてもよかったなと、そんなことも思いました。

最後に、六連小学校の学習発表会に行きました。児童数60名を切った小規模校なのですけれども、上級生の音楽発表と各学年1つずつ7ステージに分けて、大体1つステージが12、3分の発表でした。学習発表会の意味が分かりました。普段やっている授業を発表用にアレンジして、教科書の朗読だったり、楽器の演奏、体操のやり方だったりとか、修学旅行の思い出の発表だとか、普段授業で習っていることを発表用にアレンジして発表するから、学習発表会なのだということが伝わってまいりました。

印象に残ったのは4年生の豊川用水の話で、ふるさと学習にすごく力を入れているなと思ったのと、授業で習ったことだとか、地域の人に聞いたこと。そういったことを頭に入っている、せりふを覚えるじゃなくて、やはり気持ちがうまいこと表現できていたなと、そのように思いました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、高崎委員お願いします。

失礼いたします。私は10月25日に皆さんと同じように市制20周年記念給食で給食センターに、そして26日に南部小学校の研究発表に、28日は市制20周年式典に、そして11月9日に泉小学校の学習発表に、そして11月3日は文化協会のお茶会に参加させていただきました。

教育長

高崎委員

まず初めに、市制20周年記念給食について申し上げます。衛生管理もしっかりされており、また地産地消、そしてお子さんたちの好みを取り入れるということで、とても創意工夫をされて何よりすばらしいのが栄養バランス、そして味もおいしいということだと思います。そしてお子さんたちを楽しませるように、食の楽しさを小学校の頃から味わっていただくように創意工夫されていたことは、とてもすばらしいなと拝見いたしました。

次に26日、南部小学校について申し上げます。皆さん、おっしゃっているようにICT教育をすばらしく取り入れていらっしゃる、先生方、どの先生もこの日を迎えらるまで相当ご苦労というか努力をされていらっしゃるとお見受けいたしました。ひとつ、私が思ったのは、そのICT教育を取り入れることによってすばらしい教育は取り入れられるのですけれども、1つ質問したのですが、それぞれそのICTを取り入れることによって、それぞれの得意分野がどんどん進んで行けるのかなということを思いました。ただ、そのソフトを入れるに当たって少しいろいろな、まだ問題があるので、今本当に、ある画一的なカリキュラムと言うのですかね。その中で最大限の努力をされているなということがお見受けいたしました。そして最後に思いましたのが、公立小学校の中ででき得る可能というか、可能性を含めたICT教育の在り方を改めて考えさせられる学習発表会でした。

最後に愛教大の大学院の先生が学びをつなぐということで、お話をしてくださいまして、写真を撮っていいということでしたので、たくさん撮らせていただいたのですけれども、その講演でお話したいこと3つに絞られていらっしゃる、活用期から発展期に向かうため3つの必要なことということで、ICT教育が発展期に向かう段階であるなということをお見受けしました。まず、1つ目は児童生徒がICT端末を活用し、学び方を身につけること。2番目に、授業を進める主体を教員から児童生徒へ委ねていくこと。3つ目、授業やICT活用についてパラダイムシフトが起こることということで、とても充実したお話をしてくださいまして、ICT教育に見解の、見聞の薄い私にも理解する、よい講演会だったと感じました。

そして、9日の泉小学校ですが、本当にふるさと教育を感じることができまして、1人1人が主役の皆さんが活躍されている、大体15、6人ぐらいの教室、生徒数、学年生徒数だったように思います。そして、この小学校の方々は本当に素朴で素直で、将来の可能性をすごく秘めたお子さんたちだなということを感じることができました。大人になって基礎となる力をお持ちの方、地域、それからお子さんたちだなと。この笑顔を拝見して、私が感じた次第です。

先ほどから書道のことが出ていたのですけれども、実は卒業制作

の、書の1人1人が作品を作るときに、私が以前、随分前にお世話になった先生がたまたま講師でいらっしゃいました。そのときに伺って給食も一緒にいただいていたのですけれども、地域性と言いますか、たまたま知っている方だけかもしれませんが、その先ほどの寄附の石川様もそうですし、私の知っている方でニューヨークで俳優をやっていらっしゃる方とか、近く美容師さんで本当にご活躍なさっていらっしゃる方とか、この地域からそのように外に目を向けて活躍される方が、私が知っているだけでもこれだけいらっしゃるということは、恐らくこの小学校時代のこの周りとの環境とその皆さんの成長していく段階での、何かすばらしいものがあるのではないかなということを感じております。

そして、お茶会についてです。生涯学習課で小学生を対象にしている茶道の稽古があるのですが、そこからだんだん続けていって、それで成長してからもそのお茶会に参加していらっしゃるお子さんをお見受けして、ああ、すばらしいなということをおもいました。こうした日本文化離れがされている世の中ですけれども、こうして本当に古来からの日本人としてのアイデンティティーと言うか、大切にしていきたいなということに参加させていただいて、改めて思った次第です。

先ほどから教育長さんおっしゃっていたように、ドナルド・キーンさんの例を出されて人柄にほれ込むということは、本当に私も大切なことだと常々思っておりまして、この人との出会いこそがその人の人生の財産になるのではないかなと思います。

そして、最後になりますが、先日、田原中学校の職場体験を私の勤務先で受けさせていただきました。昨日お礼にいらっしゃってくださいました。本当にすばらしい生徒さんで、昨日私すぐにアンケートをファックスさせていただいたのですけれども、その子の一生の仕事に対するスタート、はじめの一步が明るいものになってもらいたいようにカリキュラムを組ませていただいたのですが、それよりも生徒さんのその人柄のすばらしさに、何か感動させていただいた職場体験のお預かりでございました。

以上です。

ありがとうございました。

最後に、田中委員お願いします。

私からは、5件報告いたします。

1件目に、10月25日に給食センターへ市政20周年の記念給食をいただいてまいりました。献立について説明があり、キャベゾウサラダのこだわり、鉢巻きをパスタで表現したりとか、とても愛ある献立だなと思いました。子どもたちの好きな理由が分かったような感じがします。

教育長

田中委員

2 件目です。10月26日、太田委員さんと伊良湖岬小学校の研究発表会へ行ってきました。新しくとても美しい校舎で、バリアフリーで体育館まで行くことができ、トイレはショッピングモールにあるような、とてもおしゃれな感じでした。研究テーマは深い学びの実現ということで、とても難しいテーマではありますが、自分の考えと他人の考えをすり合わせ、ICTを活用しつつ主体的に学べる力を育むべく、いろいろ工夫されていました。

授業参観では、児童がわいわいと楽しそうに学ぶ姿が見られました。タブレットを活用し、声を出さず話したいがメインであり、机には縁つきのトレイのようなものが取り付けられていて、タブレットの落下防止によさそうだなと思いました。体育や算数の授業では、ゲーム仕立てでわくわくして、とても子ども心をくすぐる内容だなと思いました。体育はパルクールがテーマになっており、かっこよくするために体操服ではなく、私服で行っていたことがびっくりしました。算数では2年生が学習をものにして、4年生の学習で生かすというつながりが意識されていました。どの児童も楽しそうで、校長先生が自分のクラスを持ちたいと言うほど教師陣も楽しそうでした。

3 件目です。10月28日、市政20周年記念式典に参列してきました。私の充て職である田原市表彰審査委員会で審査した方々の表彰があり、表彰状が想像を超えていて、盾のような立派なきらびやかなもので驚きでした。先ほど太田委員さんも言っていましたように、市内3校の高校生が表彰や市民憲章を読み上げる運営に参加されていて、田原市の今後の発展に若い世代の力は欠かせませんので、とても頼もしいなと思いました。

4 件目です。11月7日に田原市保健対策推進協議会に参加してきました。検診の受信料の低さが課題ですが、歯科について私の息子たちの小学生時代、虫バスターズのアイデアで、とても私が助かりましたので、お礼を申し上げました。アイデアというのは、次男がフッ素染めだし液がとても苦手で、口に含んでもすぐ吐き出してしまっていたのですが、小学校に虫バスターズの方々が訪問してくださり、染めだし液の代わりにオレオクッキーを使って、汚れのたまりやすい場所を分かりやすく伝えてくれたことが、とてもその後の歯磨きに生かされました。

すこやか親子の活動として、高校生を対象にプレコンセプションケアの普及と啓発を図るということで、どういうものか質問したのですが、プレコンセプションケアというのは、若い世代のためのヘルスケアで、妊娠前の健康や望まない妊娠や不妊治療について理解することだそうです。

高校生は勉強、部活と忙しく、成人も近い年齢であり、親の言うことを素直に聞かなかつたり、難しい年頃でありますのでネット頼りで

教育長

教育総務課長

教育長

生涯学習課長

はなく専門家から生で正しい知識を教えていただけると、とてもためになると思います。

5 件目です。11月11日、清田小学校の学芸会を見に行ってきました。屋内運動場が改修中のため、渥美文化ホールで行われました。校長先生に伺ったところインフルエンザの欠席がゼロということで、とてもうれしそうでした。4年ぶりの群読と合唱があり、劇と音楽部の演奏もありました。合唱の伴奏は田原市出身の響さざなみさんでした。劇中にラジオ体操やダンスがあると、客席で観覧している児童も上半身を動かして踊っているのが見え、とてもほほ笑ましかったです。

来年度から音楽部の発表として、ホールのステージに上がることもなくなると思いますので、児童にとってとてもよい経験になったと思います。

以上です。

ありがとうございました。

次に、報告事項（2）「小中学校への寄附について」事務局から報告をお願いします。

それでは、令和5年度教育関係寄附一覧表をご覧いただきたいと思います。

今回1件、12番目の欄をご覧いただきたいと思います。

10月31日に株式会社三河ミクロン様より小中学校、また、保育園に対して草花用培土をいただいております。昨年に引き続いて毎年いただいている次第でございます。小中学校には11.5m³ぐらいの土と、袋入れのものが910袋、保育園には300袋ということで、今後搬送されるということになっております。

金額に相当いたしますと、こちらの記載とおり140万円ほどになります。

以上でございます。

事務局の報告がありました。

ご質問等はございますでしょうか。

ご質問もないようですので、次に（3）「江比間野外活動センターの今後の在り方について」事務局から報告をお願いします。

生涯学習課です。お願いします。

A3の資料をご覧ください。

先日の11月15日の水曜日に議会の文教厚生委員協議会がありまして、この内容について報告をしております。委員の皆さんにも改めてお知らせするというものでございます。

この案件に関しましては、令和4年度から豊橋市の担当課と協議を始めておりまして、豊橋と田原の協議は整ったということで、その結果を報告させていただきます。

1 番の今後の在り方についてです。結果といたしましては江比間野外活動センターの運営につきましては、令和 7 年 3 月 31 日、令和 6 年度末をもって廃止するという方向でございます。この結果に至った経緯ですけれども、まずは利用者の数が減ってきた点、さらに利用者の回復も見込めないという点があります。それから施設が老朽化している点があります。それから安全面の課題がありまして、このセンターについて代替できる施設がないかという点を両市で確認をしてきまして、廃止もやむを得ないという結論に至ったものでございます。

廃止につきましては、周知期間を 1 年おきまして令和 7 年 3 月 31 日に廃止となります。廃止に向けて 1 年間、今後も両市で協議しながら進めていくというものでございます。

次に 2 番目の廃止決定の課題整理等ですが、そのような結論に至った経過について説明をいたします。まず、(1) のセンターの利用状況の確認ですが。少子高齢化それから青少年団体の数の減少に伴って利用者はより一層減少することが見込まれます。右側の折れ線グラフをご覧ください。利用者は、コロナの前の平成 30 年度には 9,239 人でしたが、その後コロナの影響を受けまして利用者はだんだん減少し、コロナ明けの令和 4 年度には 4,628 人まで多少回復しましたものの、コロナ前の半分程度という状況です。このセンターの設立当初の目的は、宿泊と屋外活動等の一体的な活動による利用という点ですが、今後、コロナが明けたにもかかわらず、なかなか利用状況が復活しないというところが、まず 1 点目です。2 点目としましては、このセンターがオープンしたのは昭和 50 年ということで、築 48 年を経過しておりまして、施設、設備の老朽化が進んでいる点。それから 3 点目として、ここの施設の一部が平成 29 年に土砂災害特別災害区域に指定されておりまして、管理棟やキャンプ場の広範囲で安全確保が課題となると、その対策には多額の費用がかかるという点でございます。4 点目として、年間約 2,000 万円程度の経費がかかっている、先ほど言いましたように、利用者が少ないということから利用収入も少なくなっている点があります。

次に 2 番の (2) でございますが、利用状況から宿泊、体育館、屋外活動についてのそれぞれの機能は一応民間を含め、両市の施設で市内にある施設での代替が可能かどうかということを調査しました。江比間野外活動センターの同等ということで、豊橋市にある青少年自然の家、同じく屋外教育センター、休暇村伊良湖。体育館につきましては学校施設開放、総合体育館、市民館の多目的ホール、それから宿泊につきましては民間の宿泊施設。それからキャンプ場。会議室については文化会館、市民館等で代替が可能であるというように結論づけております。

その他 (3) として、田原市社会教育施設等長寿命化計画を令和 4

教育長

太田委員

教育長

太田委員

生涯学習課長

太田委員

教育長

太田委員

教育長

太田委員

生涯学習課長

教育長

年の3月に策定しているのですけれども、この計画は施設の維持管理、更新による中長期的な取組みについて方向性を定めているものでございまして、その中で施設定義の基本的な方針を示しております。その中で、この江比間野外活動センターについては豊橋市と調整して、機能移転や廃止を検討していきますと整理したことから、このように検討を進めたということでございます。

次に3番目にスケジュールとして条例の廃止ということで、設置及び管理に関する条例が江比間野外活動センターを造るときに制定されております。来年の3月、令和6年の3月議会に廃止の議案を提出し、それに伴って住民の皆さんに4月以降に1年間かけて廃止のお知らせをして、令和7年3月31日をもって閉めるという方向で進んでいく予定でございます。

資料の右側については、豊橋市も同じ資料を使って議会に報告してありますので、概要等が示してございます。

説明は以上でございます。

ただいま事務局の説明がありました。

ご質問等はございますでしょうか。

すみません。

はい、太田委員。

分かったら結構ですけど、今、この江比間野外活動センターを各市内の小中学校、高校も含めてですけど、学校の行事等で使われてもいるわけですか。

そうですね。多いのは市外の高校が宿泊を伴って合宿を適応しております。それから子ども会なども多少は使っています。また、学校の若い先生たちのグループも会議として会議室を使っている実績がございます。

以前、赤羽根中学の1年生がここまで歩いていましたね。

そうでしたね。

1泊でやっていいましたね。今はやっているかどうか分かりませんが、

入学オリエンテーションですね。

そうですね。距離的にもいい場所だったものですから、他の市内の学校はどうかなと思ってお聞きしましたが、他の代替的な施設があり、1年かけて考えていけば、年間の行事も修正できるのではないかとということで早めに連絡をいただいたわけですね。ありがとうございました。

ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。

その他にご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長
教育総務課長

次にその他ですが、事務局から何かございましたら。

それでは、最初に行事日程をよろしくお願ひしたいと思います。

今日17日は第11回の定例会でありまして、その後25日には小学校の音楽祭がございます。

また12月に入りまして、15日に第12回の教育委員会を予定しております。

年が明けまして、1月7日には二十歳の集いがございます。

そして新春第1回の定例会につきましては、1月16日に予定しておりますのでお願ひしたいということと、併せてこの日に奨学金の受給者の選考会を行いますので、お願ひしたいと思います。

さらに最後ですね。1月25日に教育委員代表者会議が豊川市の小坂井葵風館で行われます。元の小坂井町役場のところだったと思いますが、2時から教育長と太田職務代理に出席をいただいて、その後15時半から管内の教育委員さん全体の研修会があります。併せてこの後、交流会が予定されておりますので、ご出席をお願ひしたいと思いますが、また日程等でどうしても都合が悪い場合は事務局にご連絡いただければと思います。また、どのように行くかですが、今のところ公用車1台で行く予定をしております。

教育長
教育総務課長

そうですね。皆さん、よければ1台で行きたいと思います。

教育長と太田職務代理が先に代表者会議に行ってください、その間、また付近の豊川市内の文化施設などを見学することを予定しております。

主な日程につきましては上記のとおりであります。また、教育関連イベントにつきましては以下のとおりでありまして、裏面にも掲載しておりますので、またご確認していただき、お時間がありましたらご参加をお願ひしたいと思っております。

私からは、以上でございます。

教育長

ただいまの日程案について、何かご質問ありましたらお願ひします。

それでは、その他の資料がありますので。まず、文化財課、お願ひします。

文化財課長

それでは、資料をご覧ください。

既にご承知かとは思いますが、14日の中日新聞の1面に伊川津貝塚から見つかった縄文時代の犬のお墓から見つかったアクセサリーが掲載されました。結構問合せが来まして、急遽翌日に記者発表したときの資料になりますので、こちらで簡単に説明をさせていただきます。まず、資料が見つかった伊川津貝塚というのは、渥美半島にあります3大貝塚と言われているものの1つで、県の史跡になっております。他の2つは吉胡貝塚で国の史跡、それから保美貝塚で市の史跡になっ

ているものになります。

次に、見つかったきっかけのところをご覧くださいと思います。2008年度から3回、3か年に渡って伊川津貝塚周辺において下水道工事が行われました。その2008年度の発掘調査の際に犬のお墓が見つかりまして、その犬のお墓の犬の骨も取り上げて、お墓の土も全部取り上げてきておりました。

次に、確認の経緯をご覧くださいますと、今年度発掘調査の報告書の作成をしておりまして、再度その資料を再確認しております。取り上げた土などをふるいにかけたり、水洗いをしてきれいにしまして、その入っているものをよく確認をしていました。その確認の中で、今年の9月に見つかった貝が人為的に加工された装飾品であるということが確認されました。お墓に供えられていたことが分かったということになります。このことを縄文時代のお墓に詳しい東京都立大学の山田康弘先生。貝塚にずっと関わってこられている先生なのですが、この先生のコメントとして、日本で初めて確認された縄文時代の犬の墓に装飾品が供えられていた事例というコメントをいただいております。

これを受けて、中日新聞の1面に掲載されたということになります。中日新聞が独自取材で掲載をしたということなのですが、記者さんがもう10年来に渡って貝塚に興味を持っていただいて、ずっと取材をされていた成果といいますか、そういったところから独自取材によって1面の掲載が14日に行われたということになりますし、山田先生のコメントもその記者の方がいただいたということになります。

裏面をご覧ください。具体的にどのようなものかというところですが、物自体は非常に小さい物です。1.7cmですので本当に小さい貝で、この貝は実は縄文時代、食用に適さない貝ということで、ほとんど食べてない貝みたいです。その貝は巻貝の2種類の貝で、恐らくヒロクチカノコという種、それからフトヘナタリという種のようなのですが、具体的に見ますと資料1と資料2の写真が付けてございます。こちらの貝に加工した跡が見られたということになります。

なぜ加工品として分かったかというところをご覧ください。資料1、左側ですね。資料1の左側の巻貝に関しては、背中のところをていねいにすって穴を開けております。写真で言いますと、一番上のところに穴が1つ開いているのですが、そこをていねいにすり潰して、普通はここは丸くなくなっているところが平らになっておりますので、そこに穴を開けられているということになります。

資料2、右側の写真をご覧くださいますと、こちらも3つ穴が開いているのが確認できるのですが、ここも実は巻貝ですので少し凹凸があるのですが、そこの部分も平に削って穴を3つ開けたと。明らか

に加工した跡があるというところで、装飾品と加工品というところが分かったということになります。用途的には、これが非常に難しいのですが、具体的な使用方法は分かっていないのですが、お墓から見つかったということだけは確実に言えます。お墓については、犬のお墓から見つかったということは確実に言えまして、生前の犬の持ち物だったのか。埋葬された時に供えられ、埋められた、亡くなってお墓に埋めた時に供え物として入れたのか。生前から犬が付けていたのかというのは分かりません。分からないのですけれども、確実にお墓に添えられた、入れられた装飾品ということが分かってまいりました。

このことが初公開、初出土というようにされたわけであります。この発見によって何が分かるかということなのですが、縄文時代の人たちは犬を狩猟の大事なパートナーとして、狩猟に使うための大事なパートナーとして非常に大事に扱っておりました。縄文時代の犬だけは縄文時代の人たちは食べておりません。1頭丸々しっかり飼ってお墓も造るぐらいのパートナーとして、すごく大切に使って生活していたのですね。そういうことは分かっていたのですけれども、それプラス装飾品みたいなものを、わざわざお墓の中に入れてあげるという行為をするということは、それ以上のやはりペットとして非常に大切にしていたという証拠になるものですから、人間と犬との関係性を考え直す重要な事例となるというところから大きく取り上げられたというところになります。

今後につきましては、これはまだ発表前なのですが、11月29日の定例記者会見で発表する予定でございます。12月2日の土曜日から12月27日、12月いっぱいですね、吉胡貝塚資料館で公開することを考えております。ここに来ていただくと、貝塚がどんなものかというのが分かる施設になるものですから、吉胡貝塚資料館で、こちらの資料を含めて、初公開をしていこうと考えているところであります。

以上となります。

教育長

今の説明につきまして、何かご質問等ございましたら。

ないでしょうか。

次に、図書館お願いします。

図書館長

はい。

教育長

お願いします。

図書館長

図書館からですが、たはらとLeafという小冊子をお配りさせていただいております。先月お渡しそびれたものになるのですけれども、秋から冬にかけてのイベントなどが載っていますので、またご覧いただければと思います。

教育長

その他はよろしかったでしょうか。

その他、事務局から何かありましたらお願いします。

教育部長

1点お願いします。

教育長
教育部長

はい、部長、お願いします。

11月27日の県民で学校ホリデーの関係で、ご存じかもしれませんが、その日は月曜日でありまして、月曜日に学校がお休みになるものですから、図書館全館と博物館と、それから吉胡貝塚資料館がいずれも臨時に開館します。

また、今のところとしては、まつり会館も観光課で開館するという情報が入っています。このように子どもさんの受入れ、親子さんの受入れも含めて、そういう対応を市として行います。これは既にホームページ等にも紹介していますが、この場で報告をさせていただきますので、ご承知ください。

以上です。

教育長
スポーツ課長
教育長
スポーツ課長

その他、事務局でありましたらお願いします。

スポーツ課です。よろしいでしょうか。

はい、お願いします。

去る11月12日、中部北陸実業団駅伝競走大会、無事終わりましたので、ありがとうございました。中部の方はトヨタが1区、2区先行されましたが、実力どおり優勝しまして、北陸の方はアンカー勝負になりまして、セキノ興産がYKKの牙城を崩せるのかなと思われましたが、やはり実力のあるYKKが優勝しました。

また、11月末の記者発表で発表する予定ですが、2月17日に一流スポーツ選手を呼びまして、田原市のジュニアを中心としたスポーツ教室を開催する予定となっております。まだ詳細については、まだ契約上言えませんが、バドミントンのオリンピック出た選手とか、柔道のオリンピックメダリスト、卓球の世界選手権の入賞者等を考えておりますので、また細かい内容については、できあがりましたらお話させていただきます。よろしく願いいたします。

教育長

その他、よろしかったでしょうか。

委員さんから何かございましたら。

では、特にないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。

ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第11回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後15時05分

教育長

委員

委員